

























5月トリアだよ!



5月の活動

月	火	水	木	金	土
<p>※5月の土曜開所日は、第3土曜日となっております。</p>   				<p>1 屋外・手指</p>  <p>帽子</p>	<p>2 休み</p>
<p>4 休み (みどりの日)</p>	<p>5 休み (こどもの日)</p>	<p>6 休み (振替休日)</p>	<p>7 屋外・手指</p>  <p>帽子</p>	<p>8 感触・ルール</p>  <p>スマック</p>	<p>9 休み</p>
<p>11 運動 認知課題</p> 	<p>12 音楽・絵画</p>  <p>スマック</p>	<p>13 屋外・手指</p>  <p>帽子</p>	<p>14 感触・ルール</p>  <p>スマック</p>	<p>15 運動 認知課題</p> 	<p>16 絵画</p>  <p>スマック</p>
<p>18 音楽・絵画</p>  <p>スマック</p>	<p>19 屋外・手指</p>  <p>帽子</p>	<p>20 クッキング ルール</p>  <p>エプロン 三角巾</p>	<p>21 運動 認知課題</p> 	<p>22 音楽 誕生会</p> 	<p>23 休み</p>
<p>25 屋外・手指</p>  <p>帽子</p>	<p>26 感触・ルール</p>  <p>スマック 【避難訓練】</p>	<p>27 運動 認知課題</p> 	<p>28 音楽</p>  <p>【早降園日】</p>	<p>29 屋外・手指</p>  <p>帽子</p>	<p>30 休み</p>

※専門職の来所日は下記になります。

言語聴覚士(水流理)：7日(木)～8日(金)、11日(月)～15日(金)、18日(月)～22日(金)、25日(月)～30日(土)

公認心理師(松本)：11日(月)、9日(土)

理学療法士(樋口)：8日(金)、20日(水)、25日(月)、30日(土)

作業療法士(大平)：2日(土)、7日(木)、13日(水)、22日(金)



※当日のキャンセル連絡は、8時45分までに連絡をお願い致します。8時45分以降の連絡になりますと昼食代(330円)が発生します。

- ・降園時の引き継ぎを13時30分頃より開始しています。13時45分までに来所されない場合は、ご連絡させていただきます。
- ・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までにご登園下さい。給食準備の為、10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。
- ・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・トイレットレーニングを行っている方は、トイレットレーニングセット(パンツ、ズボン、長袖シャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)



～～こどもとのキャッチボール～～

新年度が始まり、約1ヶ月が過ぎましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。あたたかくなりこどもと一緒に身体を動かすのに良い季節になりました。今回はシンプルでどんな年齢のこどもさんでも楽しめるキャッチボールについて書いてみたいと思います。

キャッチボールというと野球やソフトボールなどでボールをやりとりする光景を思い浮かべるかもしれませんが、ボールの大きさ、硬さなどを選ぶことで乳幼児期から小学・中学、高校のこどもさんまでだれでも楽しめる遊びになります。大人もこどもも最初から上手に投げたり受けたりする必要はありません。時間や回数を決める必要もなく、小さいこどもさんはボールなどを手渡したり、室内でコロコロと転がしたりするだけでも十分です。ボールを投げるための腕をあげて体幹をねじるという動きは、こどもにとって難易度の高い動作になりますので、なんとか投げられるようになっても思った方向、場所にボールを投げられないことも自然なことです。そんな時はこどもとの距離を近づけたり、こどもの扱いやすいボールの大きさ、重さ、素材などを試したりすることでコツがつかみやすくなります。また、キャッチボールはコミュニケーションの一つと捉えることもできます。「いくよーいいよ」「とれた！ーすごい！」「しまったー大丈夫」とことばをかけ合うだけで、こどもとの会話が広がり、こどもは相手の様子を見て「今かな？」とタイミングを意識したり、ボールを投げる力を調整したりすることを学びます。思うように投げられない場面も含めて、大人がしっかりと自分と向き合ってくれる時間を過ごすことは、人と関わる力を育むことにもつながっていくでしょう。

今回はキャッチボールについて紹介させてもらいましたが、他にも身近な遊びの中で、こどもの身体や心の成長につながるものはたくさんあります。私自身もさまざまな機会を捉えて、こども達と一緒に楽しむ時間を大切にしていきたいと思います。今年度も宜しくお願いいたします。



理学療法士
樋口 聖士

